



YMCA
みつかる。つながる。よくなっていく。

日本YMCA同盟特別企画

戦禍を逃れて一年
Через рік після повномасштабного російського вторгнення та евакуації з місць воєнних дій

ウクライナ避難者が自ら語る「いま」、「これから」
Точка зору евакуйованих українців на своє життя з араз та на свої перспективи і плани в майбутньому.

2/18[±] 13:30-16:00
18 ЛЮТОГО 2023 року (сб)

YMCA
WE SUPPORT THEIR LIVES.



YMCA
みつかる。つながる。よくなっていく。

日本YMCA同盟特別企画

戦禍を逃れて一年

ウクライナ避難者が自ら語る「いま」、「これから」

第1部 13:30~15:00 「ウクライナ避難者が自ら語る“いま”、“これから”」
第2部 15:15~16:00 「私たち日本社会が問われていること」
第3部 16:00~17:00 交流・情報交換会

2023年2月18日
【主催】日本YMCA同盟

YMCA
WE SUPPORT THEIR LIVES.

第1部

1. ウクライナ避難者をめぐる全体概況報告

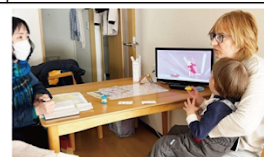
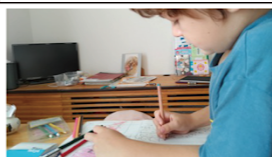
日本YMCA同盟
横山 由利亚

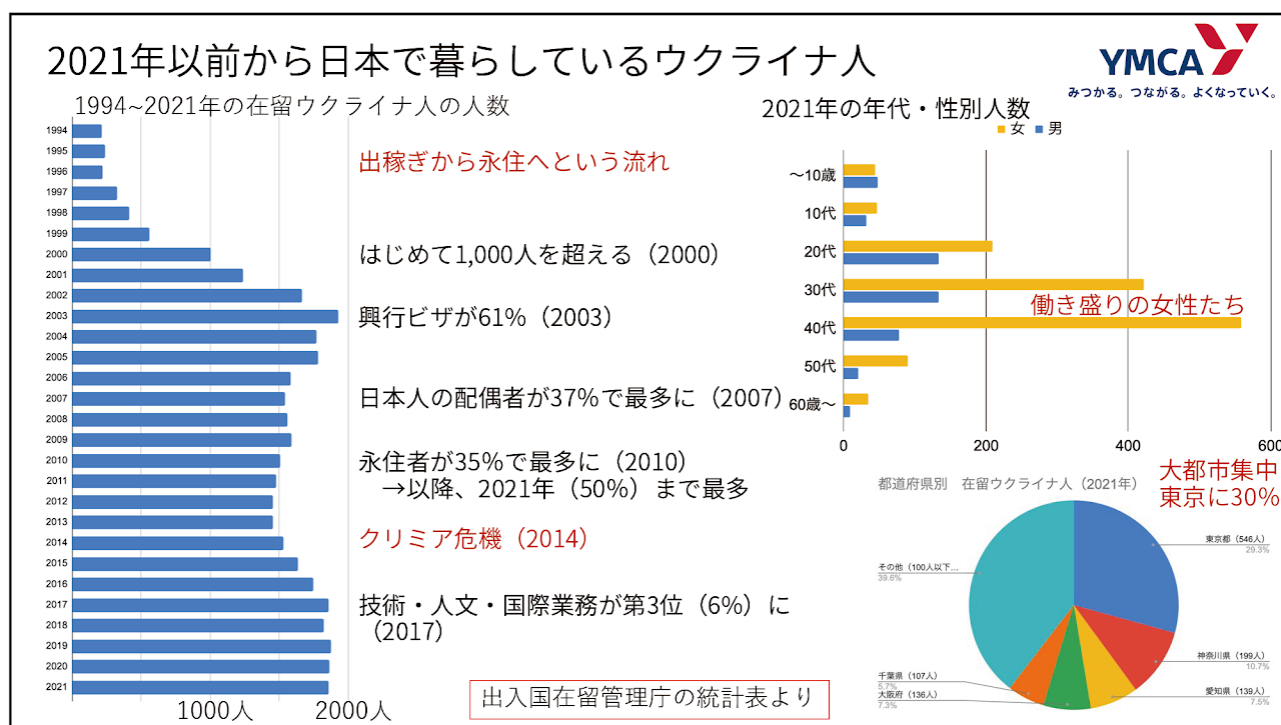
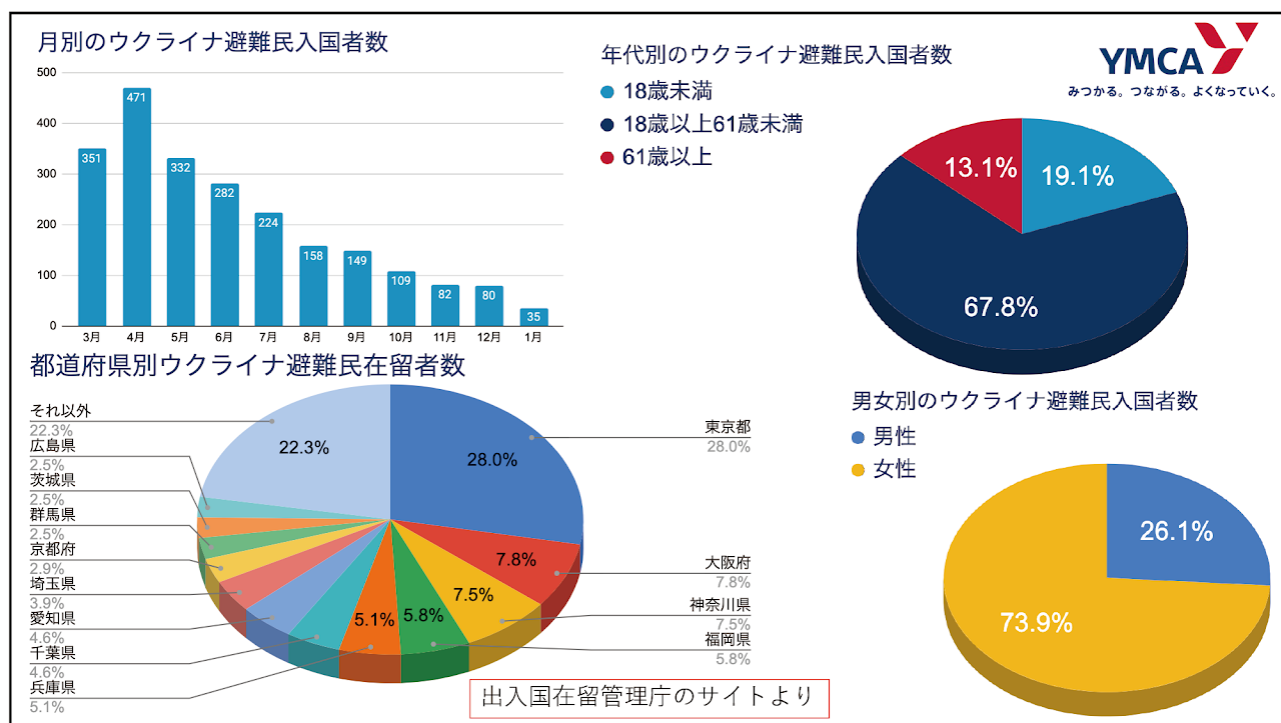
YMCAのウクライナ避難者支援の始まりと そこから見えてきたこと

ウクライナ出国の相談から日本入国まで：77件 / 165名（2月18日現在）

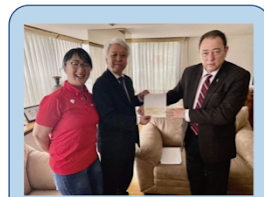
来日後の交流会、日本語クラス、訪問など：896名（上記、165名含む）

	第1フェーズ	第2フェーズ	第3フェーズ	第4フェーズ
時期	2022年3月～	2022年5月～	2022年7月～	2022年12月～
形態	来日避難・緊急支援	生活スタートアップ支援	生活個別支援	中長期滞在定住支援





ウクライナ大使館との共働



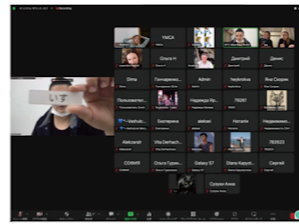
ウクライナ大使館より
1億円の寄付金を受領

2022年4月

横浜YMCA

横浜市
City of Yokohama

大使館から紹介された
在日本ウクライナ人
コミュニティとの連携



オンラインでの入門日本語教室

YMCA
みつかる。つながる。よくなっていく。

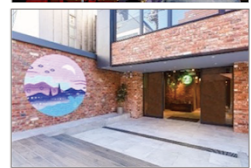
NPO法人
Beautiful World
小野ヤーナさんが
講師を務める

現在の登録者数
130人以上

ウクライナ・カフェ HIMAWARI

日本社会での生活を始めた
ウクライナ人避難者を中心
とした居場所づくり

日本YMCA同盟会館隣の
シェアオフィス、
「AYOTSUYA」と協働



日本語・ウクライナ語に対応したウクライナからの
避難者に向けた情報ポータルサイトの開設と運営

ポプートニク・トーキョー Попутник Токіо について 東京都ウクライナ避難民マッチング支援事業

※ポプートニク：寄り添う伴走者

実施体制

各主体が得意分野に応じて
役割分担し、連携・相互補完



- 避難民の状況把握、課題整理、マッチング支援
- 交流の機会の企画・実施

三者
協定



- 国際交流協会や外国人支援団体等との連絡調整
- ワンストップ相談との連携
- つなぎ先や都への言語支援



(生活文化スポーツ局)

- 都庁各局施策との連携
- 国・区市町村との連絡調整
- 区市町村をはじめ支援主体と情報共有等の機会の設定



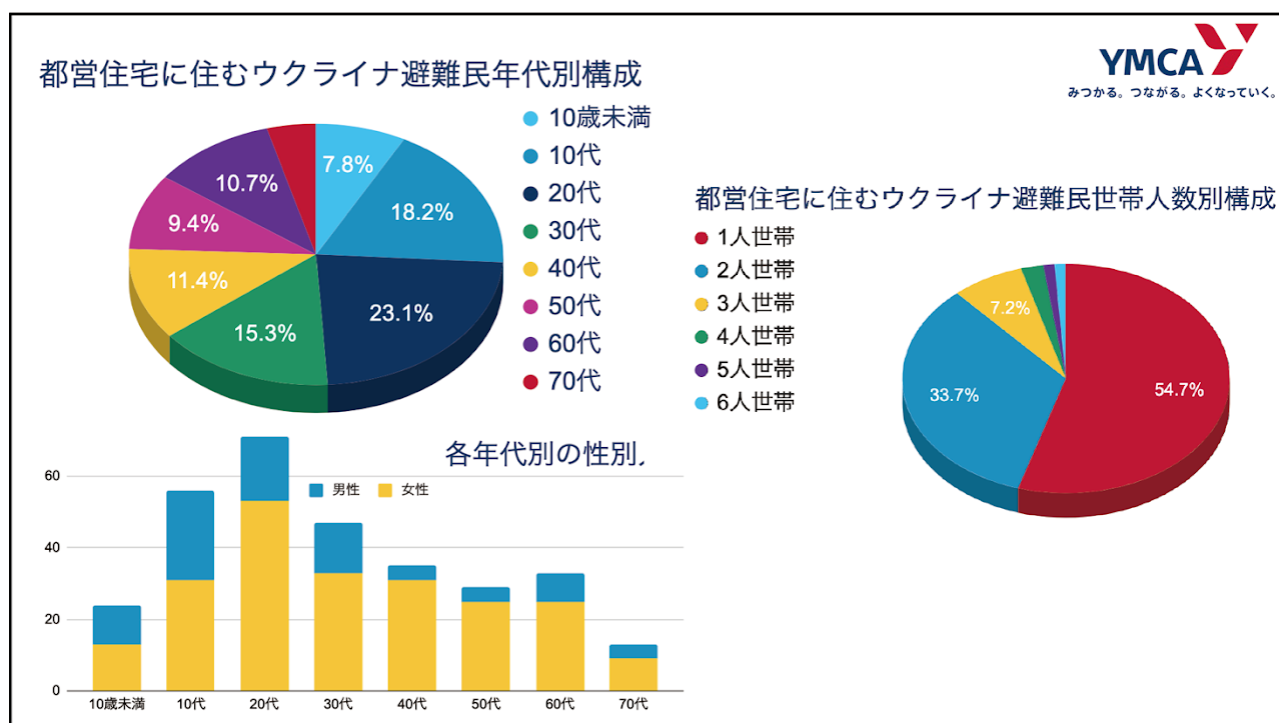
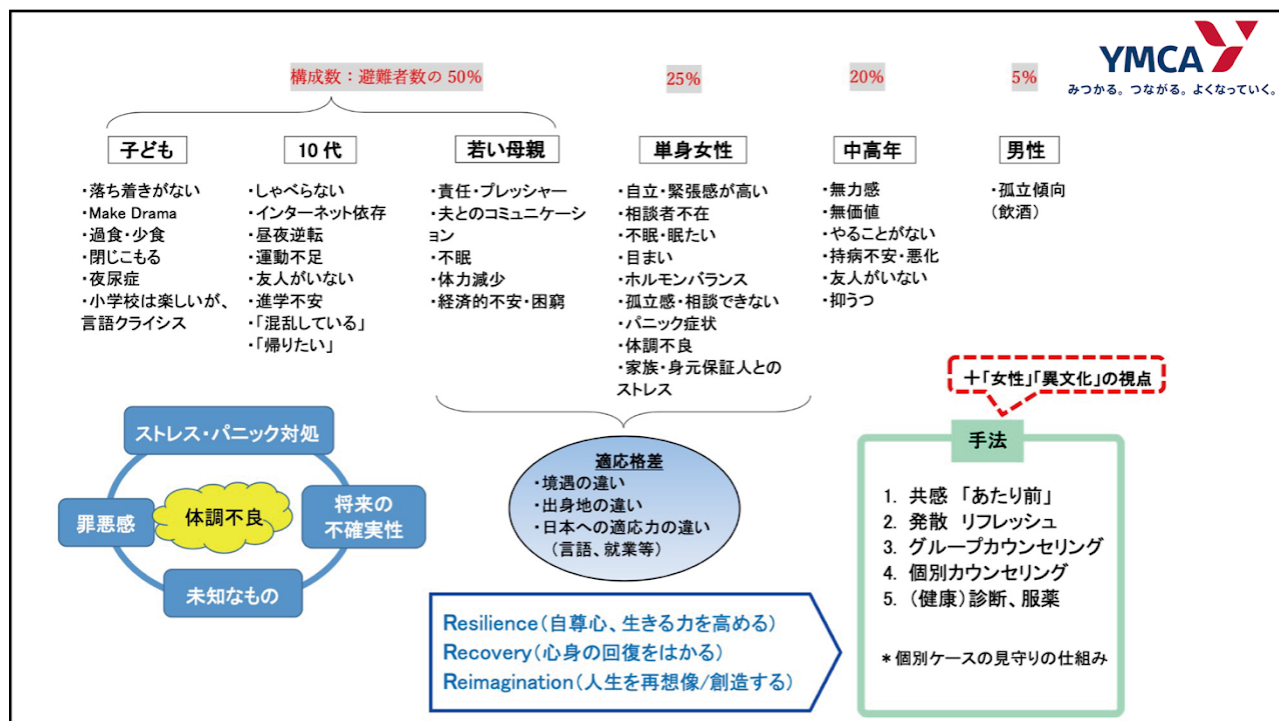
支援策マッチング案件

マッチング内容	件数
物資	66件
日本語	76件
就業	50件
手続き	57件
財政	20件
教育	51件
医療・メンタル	60件
生活・やりがい	29件
その他	25件
合計	434件

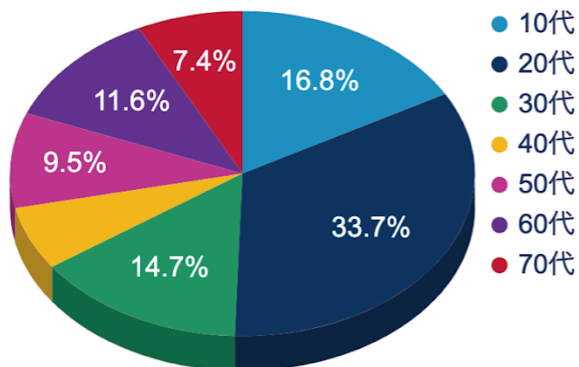
生活オリエンテーション

実施回数	参加人数
11回	48人

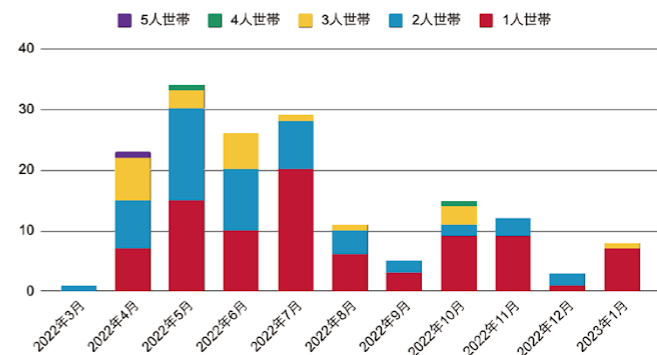
YMCA
みつかる。つながる。よくなっていく。



都営住宅に住むひとり世帯ウクライナ避難民の年齢別構成



都営住宅の入居年月別の世帯人数

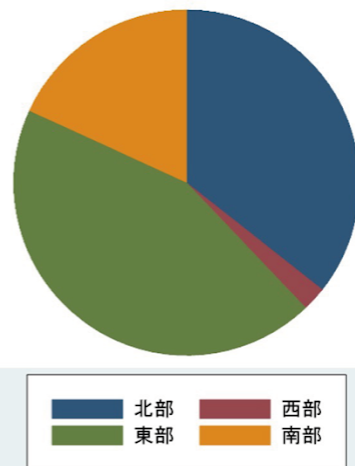


ウクライナのどこの地域からきているか？ (延べ人数)

- 東部: 43.9%
- 北部: 35.6%
- 南部: 18.2%
- 西部: 2.3%

➤ 20名の不明者がいることにも留意。

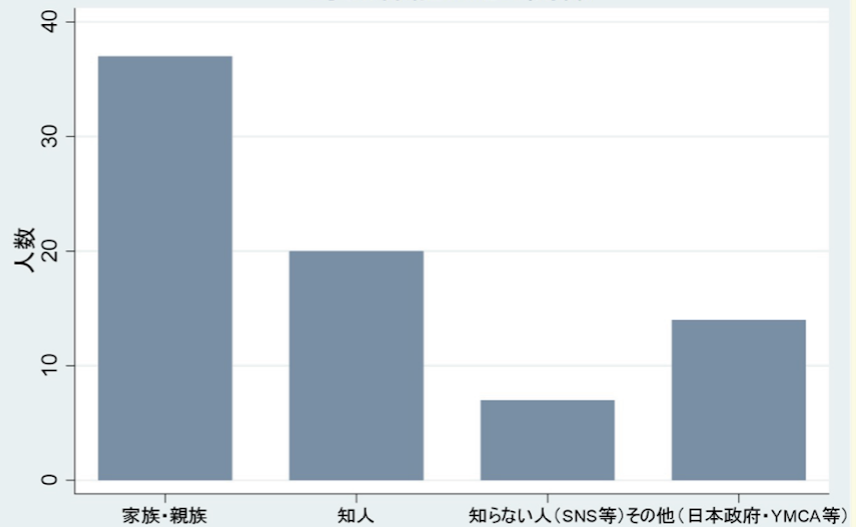
ウクライナのどこの地域からきているか？



身元保証人との関係も多様

- 半分近くは家族や親族だが、7世帯は知らない人に助けを求める（SNSを頼る）などの避難の仕方がある。
- 身寄りがない人も日本政府を身元保証人として来日している

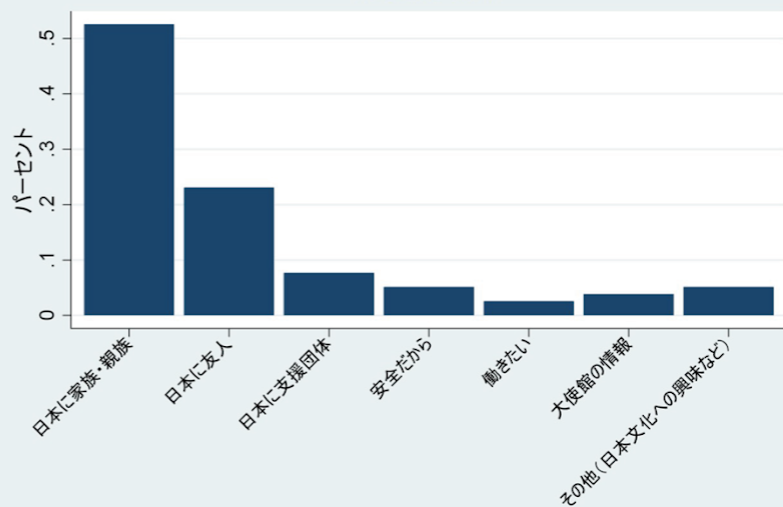
身元保証人との関係



なぜ来日したか

- 来日の理由については、半数以上 (52.6%) が家族や親族がいたからと答えている。
- 知人がいたから (23.1%) とあわせると75.7%に達する。

来日のきっかけ

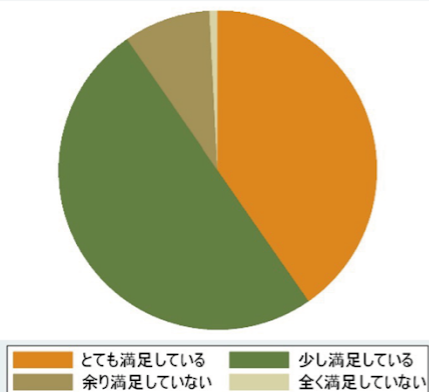


日本の生活には満足だけど将来は不安

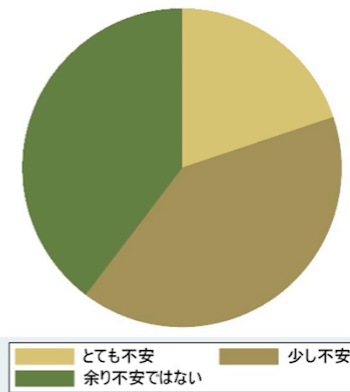


両義的な気持ちで生活

日本の生活に満足していますか？



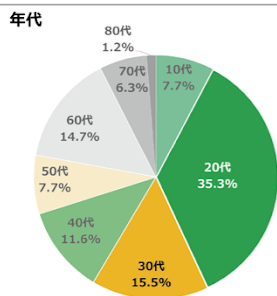
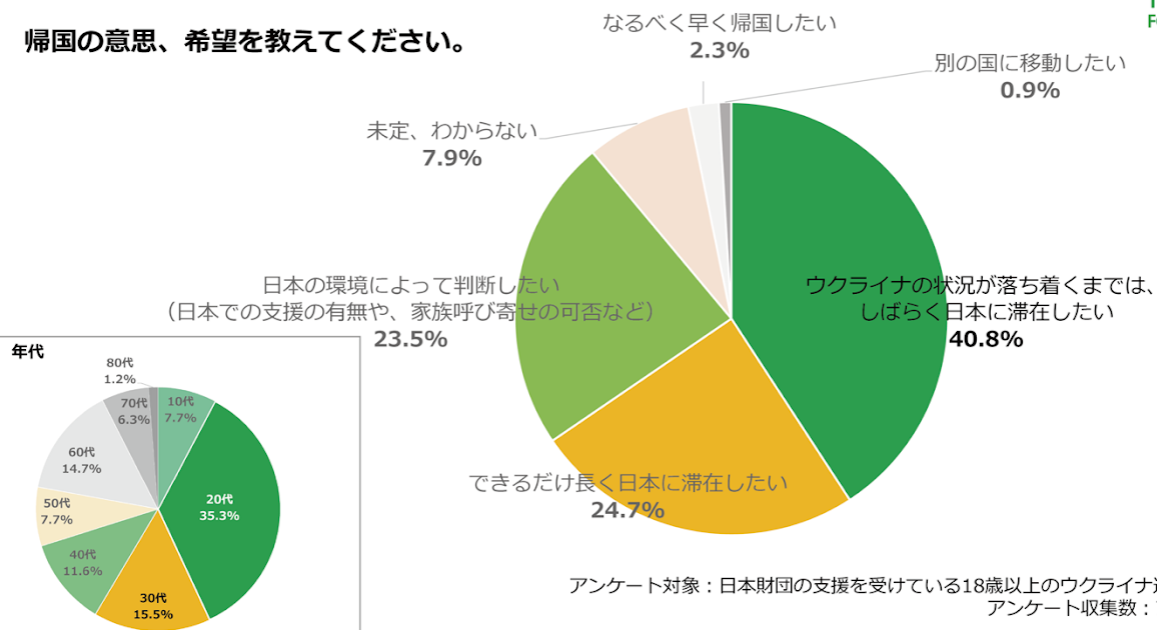
将来への不安



アンケート結果：帰国意思

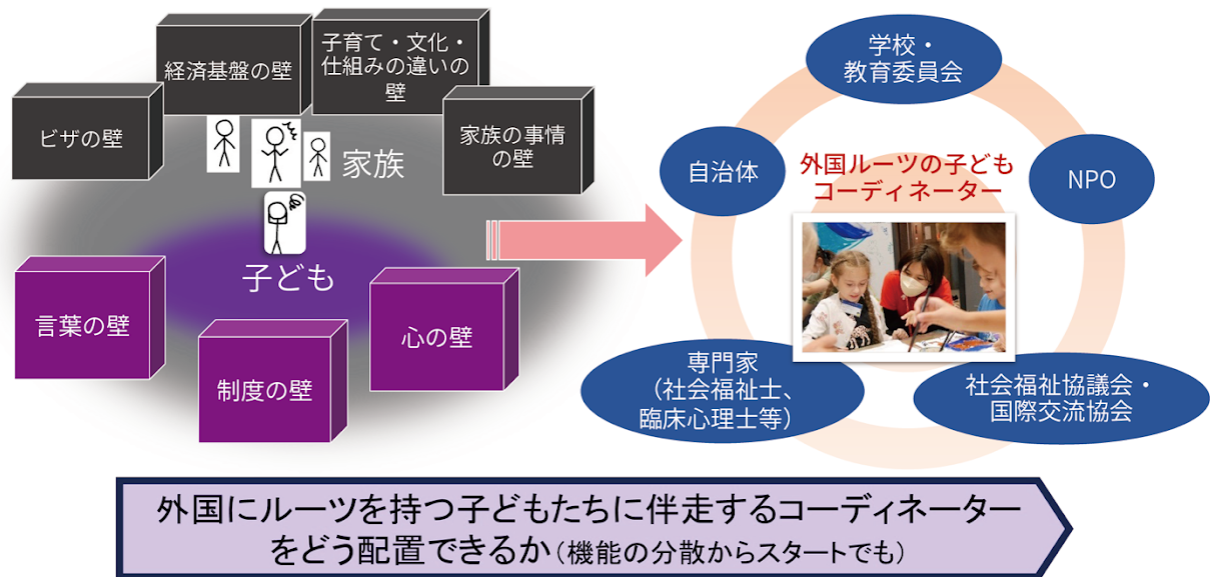


帰国の意思、希望を教えてください。



アンケート対象：日本財団の支援を受けている18歳以上のウクライナ避難民
アンケート収集数：750人

◆問われる外国にルーツのある子どもたちへの伴走力

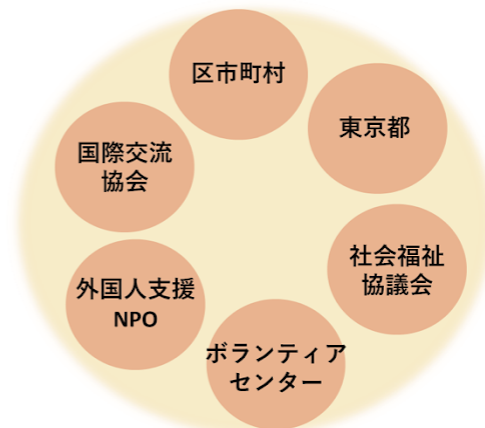


今後の取組の方向性

地域における連携、及び、地域を超えた連携の推進

主な支援主体

- 東京都
生活文化スポーツ局、政策企画局 等
- 区市町村
- 国際交流協会
- 外国人支援NPO
日本語教育、子ども支援、相談 等
- 社協・ボランティアセンター など



ポータルサイトは、支援諸団体とのつながりや会議開催、通訳の提供などによって、地域の連携を促進していく